様式１　２　（非常勤講師）

自　己　観　察　書　及　び　評　価　書（記入例）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学校名 | 職名・氏名  一次評価者は【家庭・工業・芸術・養護】は清水教頭、  【公民・体育・商業・学校設定（陶芸・宝石・中国語・韓国語）】は石原教頭を記入 | | | 担当（任用要件） | |
| 甲府城西高等学校 | 非常勤講師　・　下飯田　城子 | | | 理科（３時間） | |
| 一次評価者　職名・氏名 | | | 二次評価者　職名・氏名 | | |
| 教頭　・　清　水　規与美  教頭　・　石　原　和　也 | | 印 | 校長　・　小　俣　宏　記 | | 印 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 目標設定 | 基準日 | 令和　２年　５月　１日 | |
| ○今年度の具体的な目標（１つ）  ・目標達成のための具体的な手立て（２個程度）　＊６月１０日までに記入し提出 | | | 目標レベル |
| ＜例＞  ○基礎的な知識と技術を確実に定着させ、主体的に学ぶ意欲を持たせる。  ・何ができればいいのかわかる適切な目標を板書し、授業の終わりに自己評価を書かせる。  ・１コマの授業で生徒自身が考えを深める場面を作り、少なくとも半数の生徒に発言させる。  ・教科主任と連携し、小単元の小テストを行い、毎回満点合格者８割以上にする。  ・座学においては、タブレット、書画カメラ、プロジェクターなどのICT機器を7割の授業で活用する。  ・技能を確実に身に着けさせるため、授業内で実技テストを行い、適正な評価に生かす。  などの具体的な評価指標を記載してください。 | | | Ⅱ  Ⅱはやや高い目標レベル。ここを目指す |
| 自己観察記録　　＊R４年１月１３日までに、目標の達成状況を記入し提出 | | | |
| ＜例＞  ○基礎的な知識と技術は６割ほどの定着だったが、主体的に学ぶ意欲を持たせることができた。  ・単元の終わりに、身についたことを作文に書かせ、授業を通じて得た資質能力に気づかせることができた。  ・小単元の小テストを行ったが、満点合格者は２割程度だったので、追加課題で基礎力を定着させた。  など、設定した目標に対しての結果や取り組みを書いてください。 | | | |
| 指導助言記録　　＊R4年１月１３日までに、目標の達成状況を記入し提出 | | | |
| ＊授業観察時や日常的な指導助言等を記録しておき記入 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 能力・意欲評価 | | | 基準日 | 令和　２年１０月　１日 | |
| 評価  項目 | 着眼点 | 自己評価 | 一次評価 | 二次評価 | 特記事項  （評価の理由を記載する） |
| 能力 | ○教科に関する知識  （教科指導がある場合）  ○児童生徒の理解 | B（Bが標準） |  |  |  |
| 意欲 | ○積極性  ○責任性  ○協調性  ○規律性  ○自己啓発 | B（Bが標準） |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業績（意欲）評価 | | | 基準日 | 令和　３年　１月　１日 | |
| 評価  項目 | 着眼点 | 自己評価 | 一次評価 | 二次評価 | 特記事項  （評価の理由を記載する） |
| 業績 | ○授業の工夫・改善  （教科指導がある場合）  ○教科外指導目標の達成 | B（Bが概ね達成した状態） |  |  |  |